

第2回家畜衛生技術検討会を開催しました

令和3年10月14日

岐阜大学との連携事業の一環として、家畜衛生にかかる連携事業や共同研究などについて、情報共有や検討する場として、家畜衛生技術検討会を開催しています。第2回目は岐阜大学による主催で、外部から講師を招いて開催しました。なお、今回は検討会の様子をライブ中継し、中央家保以外の県関係機関にはリモートで参加していただきました。

■開催日時

令和3年10月14日（木） 13：30

■場 所

岐阜県中央家畜保健衛生所 講義室1

■発表内容

「牛伝染性リンパ腫の拡大防除を目指した研究のこれから」

■講師

近畿大学 先端技術総合研究所 松橋珠子先生



(発表後の質疑応答の様子)

<牛伝染性リンパ腫とは>

家畜伝染病予防法で規定されている届出伝染病であり、ウイルス感染によるものがほとんどであるが、感染した個体の多くが無症状であることが多い。発症するのは年齢の進んだ乳用牛や肉用繁殖牛に多く、近年増加する傾向にある。症状の有無にかかわらず、一度感染した牛は生涯ウイルスを保有して感染源となる。現時点では有効な治療法が確立されていないため、感染牛が確認される場合は、それ以上感染を拡大させない対策が重要となる。

※牛伝染性リンパ腫に関する詳細はこちらをご覧ください。

○国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

http://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease_dictionary/todoke/t08.html